



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamoi/>

かもい

横浜市立鴨居中学校

学校だより3月号

令和8年3月24日



鴨居中学校 note

「別れと出会い」

副校長 伊瀬知 大記

春は別れの季節です。先日、本校の第48回卒業証書授与式が行われ、卒業生が立派に巣立ちました。卒業生にとっては、一緒に過ごしてきた仲間やお世話になった先生方、三年間過ごした鴨居中学校との別れとなったことでしょう。在校生にとっても、委員会活動や部活動、学校行事等様々な場面で関わった先輩達との別れとなりました。

3月25日には、修了式・離退任式が行われます。今年度の教育活動を終えると共に、1年生・2年生がそれぞれ一つ上の学年へと進級します。進級する際には、一年間共に過ごしてきたクラスの仲間との別れがあります。協力し、励まし合い、時には意見の相違から言い合いをしたこともあったかもしれませんが、そんな仲間ともお別れです。また、お世話になった教職員の方との別れもあります。

別れには、会う機会が減ったり、時間が共有できなくなったりして、これまであった関係性が失われることへの寂しさや辛さ、不安等が伴うことがあります。特に、様々な場面で力を合わせたり、困った時に相談に乗ったりしてきた仲間との別れの影響は大きいでしょう。その中で、その相手の存在が自分にとってどれだけ大きく、大切だったのかということに気付くことがあるかもしれません。また、改めてその存在に感謝の気持ちをもつことができるかもしれません。そして、その気持ちや得た経験を次に会う人達との関係づくりに生かしていくと素敵だなと思います。

春は出会いの季節でもあります。4月から新しい学校、新しい学年、新しいクラスでの学校生活が始まります。新入生も入学してきます。環境も変わるでしょう。初めて出会う人との関わりに、新鮮さを感じることもあれば、戸惑うこともあるかもしれません。焦らず少しずつ関係を築いていくことが大切です。そこから、自分にとっても相手にとってもお互いに大切な存在となっていくといいですね。

皆さんの新たなスタートを応援しています。



3年生を送る会

3月9日、生徒会・学年委員主催の「3年生を送る会」が行われました。部活動の憧れの先輩に向けたメッセージや歌、ダンスの贈り物に全校生徒が盛り上がりました。拍手いっぱいでも送り出される3年生は笑顔いっぱいでした。



第48回卒業証書授与式

3月11日、第48回卒業証書授与式が行われました。晴天にも恵まれ、171名の卒業生が巣立っていきました。3年間の思い出を振り返った生徒たちは、笑顔に加えて、涙いっぱいの卒業式でした。



門出の言葉

うらかな空の下、柔らかな春の気配が広がる季節となりました。

春の新しい風に背中を押され、それぞれが不安と期待を胸に、校門から一步を踏み入れた入学式から、三年が経ちました。入学式でみた先輩方はとても大人びて見え、それぞれが憧れや中学生としての自分のイメージを思い描きながら、中学校生活三年間を過ごしていかうと考えたのではないのでしょうか。

入学して間もなく行われた校外学習では、日産スタジアムでのサッカー観戦で緑学年全員がおそろいのTシャツを身にまとい、声をあわせて応援しました。サッカー観戦後の鶴見川ウォークでは、5キロの道のりを班員と協力しながら歩きました。出会って、まだ日が浅かったクラスメイトとの交友がきっかけとなり、学級にも学年にも少しずつまとまりが見られました。また、委員会活動や部活動では、困っている私たちに先輩方が優しく手を差し伸べてくれたおかげで、困難な状況も乗り越えることができました。

心待ちにしていた先輩が入ってきた二年生。入学式で憧れを抱いた先輩方の姿を思い返ししながら、自分もそうなるようにと部活動や委員会活動に、より一層励みました。中学校生活の中で大きなイベントである修学旅行に向けて下見として羽田空港にも行きました。事前に予定を立てていても、思い通りに行かないことが多く、自分たちで時間を管理することの難しさを学びました。

最高学年になり、鴨居中学校の代表として今までにないプレッシャーを感じながら、行事や勉強に力を注ぎました。心待ちにしていた修学旅行では、ただ楽しむだけではなく、沖縄について様々なことを学びました。民泊では、家主の方から方言や文化を教えていただいたり、事前に準備していた質問に答えてもらったりしました。中にはその人の想いに触れる質問もあり、物事にはさまざまな視点や考え方があるということを実感しました。沖縄の明るく温かい雰囲気にも包まれながら、仲間と過ごした三日間はとても有意義な時間でした。

また、三年生になると今まで以上に行事や部活動に力を入れるようになりました。

雲ひとつない青空に照らされながら行った体育祭では、クラスや学年の垣根を越えて応援しました。競技では、練習とは違うコンディションもあり、思い通りの結果を残せなかったクラスもあったのかもしれない。しかし、競技での勝利以上に、あの時グラウンドがひとつにまとまった「鴨居中学校」という大きなチームのようを感じられたことは、私にとってかけがえのない思い出です。

みなさんの中には、部活動を経験した人も多いのではないのでしょうか。活動日数や活動場所はそれぞれ異なっていると思いますが、

大切な仲間と出会い、ともに経験を積んだという事実は同じです。一生懸命取り組んだ三年間。そして引退……その後の先輩に送りだしてもらった三送会には私にとって忘れられないものとなりました。そこで培ったものは専門的な技術だけではなく、これからの高校生活や様々な場面で私やみなさんを支え、成長を後押ししてくれる心の力になるでしょう。

たくさんの思い出がある中で、特に印象に残っているのは、三年生の合唱コンクールです。この時期は感染症が広がらず、全員が集まって歌える回数も多くはありませんでした。だからこそ、誰一人欠けることなく練習できたあの瞬間は当たり前ではない、大切な時間だったと感じています。練習を重ねるにつれ、本番への焦りからすれ違いが生まれ、上手くいかない日もありました。しかし、迎えた本番では全員が心を一つにして、会場を素敵な歌声で満たしました。合唱が終わるたびに響きわたる拍手は、お互いに頑張りを認め、心から称え合っているように感じました。たくさんの練習と歌声が、私たちの絆をより深め、最優秀賞以上に大切なものに出会えたと思っています。

この三年間、楽しかったこと、悲しかったこと、驚いたこと、様々な出来事がありました。時には自分を見失い、ぼんやりと過ごしてしまう日もありました。しかし、どんな瞬間でも私を見捨てる人は誰一人いませんでした。生徒会活動の前に送り出してくれたクラスメイト、忙しくてなかなか参加できていなかった部活動に久しぶりに参加したとき、「おかえり」と迎えてくれた仲間、どんな悩みを抱えていても、最善を尽くし、支えてくれた担任の先生がいたからこそ、学校生活を全力で楽しめた自分があります。そして、生徒会活動も部活動も続けた。けれど勉強を怠りたくない、という私の想いを否定せず、最高の環境をつくってくれた家族には感謝してもしきれません。きつとこの緑学年の多くの人が私と同じ境遇だったのではないのでしょうか。私にとって、この中学校生活を過ごしていく上で、出会った全員が味方であり、大切な存在でした。特に個性豊かで思いやりにみちあふれたこの緑学年は、何より誇らしい存在です。この鴨居中学校緑学年一七一名の一人でも欠けていたら、こんなに素晴らしい三年間にならなかったと思います。こんなに素敵な人たちに出会えた私は、世界一の幸せ者です。本当に三年間、支えてくれてありがとうございます。

この鴨居中学校で得たかけがえのない思い出となにより強くて、深い絆を胸に、これからも成長し続けること、またこれまで以上に仲間を思いやることができる人になることを誓い、鴨居中学校四十八期生の門出の言葉といたします。

令和八年三月十一日

横浜市立鴨居中学校 卒業生代表

いじめをなくすために

2月の最終水曜日(今年は25日でした)は、いじめをなくす世界的運動であるピンクシャツデーです。本校でも「いじめ防止基本方針」の改訂を、教職員のいじめ防止委員会だけでなく、生徒会の生活・福祉委員会の意見も踏まえて行ってきました。その中でも生徒自身の行動として、生活・福祉委員会でポスターを作成して、校内に掲示をしています。「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できることを目指して、教職員・生徒が自分事としていじめをなくす取組を進めていきます。



これまでありがとうございました。

今年度より離任任式を年度内に行います。これまで、鴨居中学校を支えてくださった教職員の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。新天地でのご活躍をお祈りいたします。異動先については、後日市教委より公表されます。

横浜優秀教員最優秀賞を受賞

3月23日横浜優秀教員賞表彰式が市庁舎で行われました。本校、中村悟主幹教諭が最優秀教員賞を受賞し、下田教育長より表彰されました。教務主任として、不登校支援での外部機関連携や先進的な学校運営を中心となってい、受賞につながりました。

4月の主な予定

- 4月7日 始業式・入学式
- 4月8日 生徒会オリエンテーション
- 4月10日 身体計測・体力テスト
- 4月14日 防災訓練
- 4月17日 3年修学旅行保護者説明会
- 4月20日 3年全国学力・学習状況調査(CBT)
- 4月23日 3年全国学力・学習状況調査(PBT)
- 5月1日 授業参観 学級懇談会
カリキュラム説明会 部活動説明会

給食の箸は各自です

横浜市立中学校では、令和8年4月から「全員給食」がスタートします。

ポータルサイト登録やアレルギー面談への対応にご協力いただきありがとうございました。今後ともご理解ご協力をお願いします。

なお、これまで通り、箸等のカトラリーは各自持参です。給食用帽子、エプロン等とあわせてご用意ください。



<https://kyushoku.city.yokohama.lg.jp/>